

感染症対策へのご協力を
おねがいします

！ 手洗い

	手洗いの方法	残存ウイルス数(残存率)*
手洗いの 時間・回数に よる効果	手洗いなし	約1,000,000個
	流水で15秒手洗い	約10,000個(約1%)
	ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	約100個(約0.01%)
	ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	約10個(約0.001%)
	ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個(約0.0001%)

*手洗いなしと比較した場合 《出典》森功次也:感染症学雑誌、80:496-500、2006

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。

正しい手の洗い方

手洗いの
前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのばすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔な
タオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



新入職員・入社式&研修

4月1日、当法人では、地域医療・健康増進を担う47名の新しい職員を迎える入社式を行いました。勝木保夫グループ代表が辞令交付を行い、新入職員を代表して、看護師の木藤音々さんが新社会人としての決意表明をいたしました。当日から4日間の日程で研修が行われ、社会人としての心構え、接遇やグループの取り組みなどを学びました。



互いの業務を知る、サービス向上の取り組み!

1月24日に業務活動発表会を開催いたしました。この会は、各部門が取り組んでいるカイゼンなどの様々な取り組みを院内に発信することで、お互いの業務を知り、よりよいサービスにつなげ、運営に活かしていく取り組み。今回も16題の発表があり、活発な意見交換が行われました。



芦城クリニック	堀田 洋平	健康増進センターアール芦城開設に至った背景と現状報告
ダイナミック	小池 順	スポーツコミュニティダイナミックにおける集団型健康増進スクールの取り組み
訪問課	村中 誌奈	グッドジョブ賞 生活機能向上へチャレンジ!
ダイナミック	道端亜矢香	ベストプレゼン賞 受付業務における業務改善への取り組み~より質の高いサービスを目指して~
医事課	山本 史歌	患者満足度向上の取り組み
整形外科	岡本 義之	アカデミック賞 脊椎・下肢関節変性疾患に対する手術療法のロコモ改善効果~術後半年の経過~
褥瘡委員会	坂下 和美	グッドジョブ賞 皮膚損傷予防~患者の四肢を守るには~
臨床工学課	國嶋 宏幸	臨床工学課の業務と業務拡張について
検査課	北森友里恵	スーパーパフォーマンス賞 睡眠呼吸外来でのCPAP遠隔モニタリング診療における取り組みについて
入院サポートセンター	室川梨恵子	石川県病院協会優秀研究賞 看護師による入院前支援開始後の現状報告及び課題
臨床工学課	坂下 広樹	ベストカイゼン賞 臨床工学課(循環器) 2019年度業務改善報告及び事例報告
看護部	小西あけみ	認知症ケアサポートチームの活動報告
リハ技師部	釜場 海	回復期リハビリテーション病棟における業務活動報告~集団コミュニケーション療法の取り組み~
リハ技師部	池田 拓史	スーパーパフォーマンス賞 急性期リハビリテーションの再考~THA術後の高頻度介入の効果検証~
リハ技師部	上田 晶子	グッドジョブ賞 手術後当日のリハビリテーション介入の取り組み~安静による苦痛の軽減を目的に~
丸内芦城高齢者総合相談センター	中村 英史	グッドジョブ賞 フレイル予防機能強化型センターの取り組み



新任医師の紹介

4月に着任した医師を紹介します
(左から順に)

整形外科
高 誠治郎 ●たか せいじろう

認定医・専門医
日本整形外科学会認定専門医
日本リハビリテーション医学会認定
専門医・臨床医

Message
長く大阪にいました。早く地域に馴染み、スタッフと協力して診療にあたります。

循環器内科
藤田 主税 ●ふじた ちから

認定医・専門医
日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医

Message
狭心症、心不全、下肢閉塞性動脈硬化症だけでなく、睡眠時の無呼吸やいびきまで、患者さんの健康のため尽力いたします。

糖尿病・内分泌内科
森島 祥子 ●もりしま しょうこ

認定医・専門医

Message
限られた時間の中で最大限頑張っています。一緒に治療していきましょう。

眼科
立花 学 ●たちばな たく

認定医・専門医
日本眼科学会認定専門医

Message
白内障やドライアイなど、眼に不都合を感じたら、お気軽に受診してください。

麻酔科
白倉 愛 ●うすくら あい

認定医・専門医
日本麻酔科学会認定専門医・指導医

Message
患者さんが安全、快適に手術を受けられるように、取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染対策を実施しています。

病院には、さまざまな患者さんが受診されます。緊急事態宣言は解除されましたが、引き続き感染対策を実施します。地域の医療体制を維持するため、ご理解とご協力をお願いします。

AI問診を導入

やわたメディカルセンターの外来で、AI技術を用いたタブレット型の問診システムを導入しました。この新しい問診システムは、患者さんが入力した情報に応じて、項目が変化し、より詳しくお身体の状態を把握できるほか、待ち時間の短縮や医師、看護師の負担軽減も期待されます。

現在、整形外科の初診患者さんの問診で活用しており、今後は他の診療科での活用も検討しています。



リハビリロボット県内初導入!

上肢の運動障害がある方の機能改善を目的とした「上肢訓練ロボット」を新たに導入しました。このロボットは、患者さんの状態に合わせて、運動方向や負荷量などをコントロールし、その機能を発揮させやすくする機器です。近年、このようなロボットを使ったリハビリは医療業界でも注目されています。当院では、このロボットなどを活用し、脳卒中以外の疾患にも応用も考えています。



テレビ台が新しくなりました。

各病室のベッド横に設置している、小物などを保管する台が新しくなりました。新しい台には、標準機能で保冷庫が設置されています。テレビの視聴には、これまでは専用カードを購入していただきましたが、今後は利用申込みをしていただくことでお使いになれます。視聴料金は1日220円(税込)です。



職員の頑張りに

各部門では、学会発表や研修会、専門資格の取得などを通して、より専門性の高い、良いサービスを提供できるように日々研鑽を積んでいます。

- 第20回日本クリニカルパス学会学術集会で、リハビリテーション科の池永康規主任部長が論文奨励賞を受賞。
- 臨床工学課の國嶋宏幸さんが3学会合同呼吸療法認定士、坂下広樹さんが日本不整脈心電学会の認定する埋込型心臓デバイス認定士の認定資格を取得。
- 放射線課の橋本典子さんが、乳房超音波講習会で評価A判定の優れた評価を受けました。
- 2019年石川県病院協会の優秀研究賞に放射線課の田畑悦子さん、入院サポートセンター看護師の室川梨恵子さんが選ばれました。



基本理念

あなたの健康が私たちの願いです。

～ Your Wellness is our dearest wish ～

※Wellness: ウェルネスとは身も心も、家庭や地域、環境もイキイキ、はつらつとしていること。また、そうあるよう日々こころがけ、行動すること。意気軒昂、前向きに、主体的に生きる、がキーワード。

基本姿勢

人を信じ、人を大切にします。